

節目祝い、功績称える

発明協会県支部50周年式典



支部役員功労表彰が行われた式典
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

社団法人発明協会県支部創立50周年記念式典及び15年度九州地方発明表彰式は16日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開き、節目の年を祝うとともに発明の奨励・育成などに功績があった人を表彰し称えた。

同日は、須賀龍郎発明協会支部長(県知事)及び吉田文毅(発明協会)副会長から式典に寄せて式辞等が行われたあと、表彰式に移った。

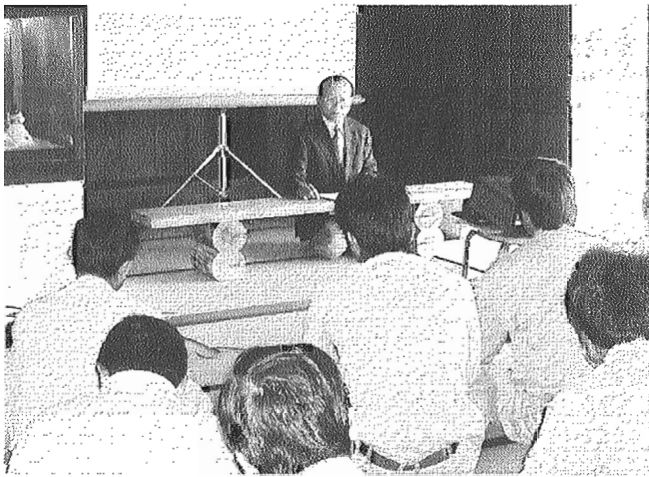
表彰式では支部創立50周年記念支部長表彰として支部役員功労賞で小牧孝(小牧ハウス(株)社長、石原孝(無料発明相談相談補助員)、相良達之(相良製作所取締役)、板倉文明(文明農機(株)社長)のほか、支部会員功績賞でインフラック(株)、小牧ハウス(株)、相良製作所、(株)フジヤマ、サン

北薩造園業協会技術研修会

緑化樹の現状など聴講

北薩造園業協会(田中高徳会長、10社)は15日、薩摩郡宮之城町虎居の県立北薩広域公園で15年度技術研修会を開き、社団法人日本植木協会の川崎一三(会長、川崎緑化センター)社長を講師に招き、「公園、街路、庭園などの緑化樹の現状と今後について」と題した講演を実施。午後は同町屋地の県営ウッドタウン内のクスの木などの剪定技術研修を行い、プロとして技術研さんに努めた。

講演会は、同公園の里

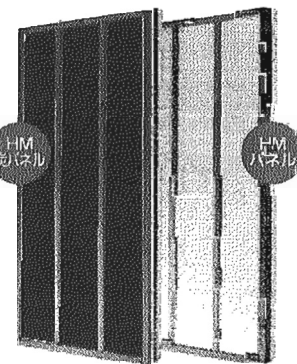


多様化する緑化樹など学んだ研修会
＝宮之城町の北薩広域公園で

岩田組に発明奨励賞

環境配慮の工法評価

うち、本県から発明奨励賞を受賞した(株)岩田組は「発砲スチロール打込型枠工法」などの発明が評価され表彰となった。同社は本県において環境に配慮した工法の開発・施工を追求、県内はもとより全国的に事業を展開しH Mパネルに炭素塗料を塗布し、バージョンアップさせた新製品「H M炭パネル」なども開発している。



コストダウンも図れるH Mパネル

コンパネ型枠に比べ、コンクリート打設後の断熱材の取り付け、型枠材の解体・片づけが不要。また、断熱材と胴縁材との組み合わせにより内装の組み合わせにより効果的。さらに、電力費削減により、30～40%のCO2削減につながり、地球環境にもやさしい商品。このほか、リサイクル性があり、環境にやさしい安心。

また、同日は鹿児島大学学部の原口泉教授が「薩摩藩とものづくり」発明と歴史のダイナミズム」と題した講演も行われた。

保全対策の必要性示す

有明町押切海岸対策会議



さらなる調査研究を申し合わせた対策会議
＝有明町の役場で

首於郡有明町の押切海岸は潮流変化や台風などの影響で海浜が浸食され続けている。このための対策会議が10日、町役場で町議、町長、県、鹿児島大学、漁協などの関係者が出席して行われた。今回は2回目の会合で、8月20日に出されていた海底の深さの変化調査のデータを基に質疑が交わされた。

検討会では、1980

黒松製材建設40周年感謝祭

顧客に感謝、さらに精進



(株)黒松製材建設(黒松正之代表取締役、鹿屋市)と協働会(22社)はこのほど、同社が今年で創業40周年を迎え感謝を表した。

当日は、40年の間に新築したユーザーを対象に呼びかけ、家族連れら約750人もの参

家族連れらで賑わった感謝祭。鹿屋市の同社工場では、40年間のパネル展示やキッチン、システムバスなどメーカー展示コーナーもあり、来場者はでこぼこになったまな板を持ちこんできれいにしてもらったり、大工さんなど木工制作を実施するなど楽しんだ。

黒松正大取締役は「予想以上の来場にご感謝しています。ますます信頼を高めていきたい」と話した。

圧力式密閉型急速ろ過機

新世紀の新たな標準
テーマは『安全・自然・シンプルそして高性能』

水道施設の技術的基準を定める省令の『資機材等の浸出試験』に合格した特殊天然ろ過材を使用し、鉄・マンガン・ヒ素・鉛・亜鉛・銅・濁度・色度などの除去を可能にした水処理システム

◎快適な上下水道事業の実現に貢献する◎

大協株式会社

(鹿児島県鹿屋市) 代表取締役 横山 総一郎
本社 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町2番3号
TEL(099)253-1095 FAX(099)253-1086
E-mail: daikyo@po4.synapse.ne.jp
http://www2.synapse.ne.jp/daikyo/